

## 日本語学習者の学習意欲の向上に対するインプロ (Improvisation) の有効性

大出美和子

日本語学習者の学習意欲の向上に効果があるとして近年注目されている「インプロ(即興演劇)」に焦点を当て、タイ人日本語学習者 31 名を対象に実験を行った。実験では、2つのクラスを設け、一方にはインプロで、もう一方には機能シラバスで「あいづち・質問表現」の授業を行った後、「インプロの利用は、日本語学習者の学習意欲の向上に効果があるか」という課題を解明するため、授業に対する質問紙調査を実施した。質問紙は授業の楽しさや雰囲気などに対して 7 段階で評定を下す選択式質問と、楽しかったことといやだったことを記述する記述式質問で構成されている。

評定で得られた結果について t 検定を行ったが、いずれの尺度においても 2つのクラスの間には有意な差は見られず、インプロの利用が日本語学習者の学習意欲の向上に効果があるという結果には至らなかった。これは、両クラスの被験者がともに高い評定を下したことによる天井効果が現れていることが最大の原因であると考えられる。また、記述式質問でも被験者は全体的に肯定的な意見を示した。しかし機能シラバスのクラスでは、教師が日本語のみで説明をしたことがよかったという意見や、また大学に来てほしいといったメッセージを書く被験者も多く、本研究の目的である指導法の効果について書かれたものは少なかった。一方、インプロのクラスでは、具体性には欠けるものの、指導法そのものを高く評価する意見が多かった。また、本実験では、授業の様子を撮影しており、この映像を見ると、通常の授業ではあまり話さない学習者も、インプロの授業では積極的に会話をする様子が観察できる。この映像は今後の日本語教育にとって貴重な資料となると思われる。数値としては結果が現れなかったものの、学習者の記述や映像資料からは、インプロの利用は学習者の興味をひき、楽しいと思わせることで、日本語学習者の学習意欲を向上させることができる可能性が示唆された。